

令和3年度(2021年度)論作文課題

論文課題

○ 上級職等(社会人経験者の獣医師を含み、消防職を除く)

本市は、古くからはぐくまれた歴史と文化、自然の恵みに、都市の利便性が調和した、成長と発展、可能性とを持った都市である。その本市のブランドを高めるための活動としてどのようなものがよいか、その必要性、具体的な活動内容、効果についてあなたの考えを1,200字以内で述べなさい。

○ 上級消防職

災害の多くは予防でき、自然災害は減災することは可能だ。しかし、そのためには行政のリーダーシップは欠かせない。このことについてあなたの考えを1,200字以内で述べなさい。

○ 社会人経験者等

本市では、職員が備えるべき行動姿勢として、市民志向、改革志向、自立志向、チーム志向を掲げている。社会人経験の中でこれらに生かせる出来事、共有できる経験を述べ、そこから学んだこと、本市での仕事に生かせることを1,200字以内で述べなさい。

作文課題

○ 初級職等

本市市民が期待する市の職員像とはどのようなものと考えるか。また、それに応えるためにあなたはどのようにしたらよいと考えるか、800字以内で述べなさい。

○ 就職氷河期世代対象

本市が抱える課題を1つあげ、それについてあなたはどのように解決していったらよいと考えているか、800字以内で述べなさい。

○ 看護師・診療放射線技師

患者や家族の不安、悩み、孤立感に医療従事者としてどう向き合っていけばいいのか、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

○ 障がい者対象

本市役所での仕事の多くは、チームを組んで行うことが多い。その際に心がけるべきこととはどんなことか。800字以内で述べなさい。

令和3年度（2021年度）集団討論課題

- ※ 集団討論を実施しない職種もあります。詳しくは各試験案内をご覧ください。
- ※ 課題が複数ある場合は、グループごとに、課題の中の1題を出題

【上級職等】

- 近年、全国的に地震や豪雨災害などの大規模災害が 頻発している。本市は、熊本地震で甚大な被害を受け、市民と行政とが一丸となって復興への歩みを進めてきた。今後、熊本地震の経験と教訓を踏まえ、地域の防災力をさらに高めていくためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 本市では、まだ食べられるのに捨てられている食べ物、いわゆる「食品ロス」が年間約38,000トンも発生していると推計されている。食品ロスの削減に向けて、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 本市の道路事情は、主要渋滞箇所数等の指標が全国の政令指定都市でワーストワンであるなど交通渋滞が常態化しており、市民生活をはじめ経済活動にも深刻な影響を及ぼしている。交通の利便性を高め、熊本市をより暮らしやすいまちにするために、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、人々の生活様式は大きく変容した。今後、新型コロナウイルス感染症が収束した後を見据えたまちづくりにおいて、本市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染が拡大する中、感染者が確認された事業所や病院などの職員、その家族等に対し、誤解や偏見に基づく差別的な言動が報告されている。人権に対する理解を深め、差別のない社会にしていくために、行政としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う働き方の変化とともに、地方移住への関心が高まっており、今後、大都市から地方への人口分散が加速すると思われる。熊本市としても、本市への移住、定住を進めるため、このまちに住んでみたい、ずっと住み続けたいと思ってもらえるような魅力を広く発信することが重要と考えるが、具体的にどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 本市では、新型コロナウイルス感染症への対応として、市民の命と健康、そして生活を守るために医療提供体制の強化をはじめ、ワクチン接種や中小企業等への支援など多種多様な取組を行っており、多くの市職員が様々な部署で業務を担当している。感染拡大による影響が長期化する中、市職員としての使命を果たしていくために、どのようにしてモチベーションの維持向上を図っていくとよいか、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、早急な行政のデジタル化が求められている。本市においても、「熊本市行政サービスDXアクションプラン」を策定し、行政のデジタル化の実現に向けて取り組んでいるところである。市役所のデジタル化を進めるサービスにはどのようなものが考えられるか、また、どのような視点を持って進めることが必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

【社会人経験者等】

- 本市では、熊本城の緑と調和した都市の景観整備に取り組んできたところだが、一方で、巨木化、老朽化した街路樹は、通行の安全性や維持管理費用の増加等の問題も生じている。今後、「森の都」と安全で住みやすい都市を両立していくためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 少子高齢化が急速に進行し人口が減少する中で、働く意欲のある高齢者が、その能力を十分に発揮できるよう、定年延長等の措置によって、70歳までの就業機会を確保する事業者が増えてきている。このことは、若年者の働き方にも影響を与えると思われるが、今後、若年者から高齢者まで様々な世代が意欲をもって働ける職場環境をつくるために、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 新型コロナウイルス感染症を契機として、職場における在宅勤務（テレワーク）は広がりを見せている。本市においては、育児や介護と仕事の両立を支援する在宅勤務制度が2020年2月に導入され、また、感染リスクの低減を図るための在宅勤務（テレワーク）にも積極的に取り組んでいる。本市として、市民サービスの向上を図りながら、職員にとって働きやすい職場環境をつくるためには、どのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

【初級職等】

- 子ども本人や家庭の状況その他の事情により、社会的に支援の必要性が高い子どもたちが存在する中、本市においても子どもの貧困対策が求められている。全ての子どもたちの将来がその生まれ育った環境によって左右されることがないように、前向きな気持ちで夢や希望を持つことのできる社会を実現するために、本市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

○平成29年7月実施「子どもの生活等実態調査」では本市の子どもの貧困率14.0%

○社会的支援：子ども等に対する教育の支援、生活の支援、就労の支援、経済的支援等

- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、本市の小中学校、高等学校等の教育現場では、様々な制限の中で授業を実施したり、学校行事の中止や延期が余儀なくされる状況となっている。生徒の学校生活における本来の学びの機会が失われないため、本市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。
- 本市では、進学や就職による市外・県外への転出により、生産年齢人口の減少が課題となっている。若い世代の流出を抑制するため、本市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。

【就職氷河期世代対象】

- 現在、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済は厳しい状況に置かれている。今後、本市としてどのような取組が必要か、グループで話し合い、意見をまとめなさい。